センテンス・フロー及びリエゾン学習

英文のセンテンス・フロー

センテンス・フローで英文を覚えよう

日本語のセンテンス・フロー

センテンス・フローの応用　エーデルワイス

センテンス・フローの応用　エーデルワイスを覚えよう

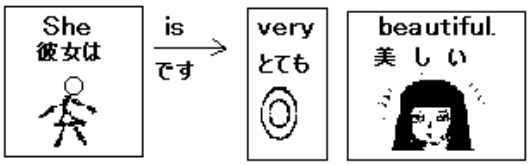
センテンス・フローの例　　文の構造を知ろう

リエゾンとリダクション

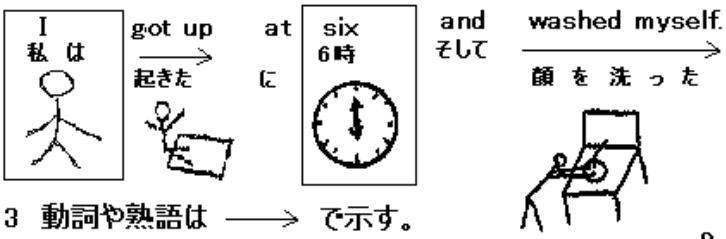
高見　忠

英 文 の セ ン テ ン ス ・ フ ロ ー

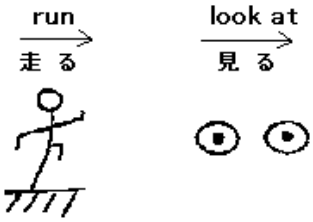
1 名詞、形容詞、副詞は □ で囲む。



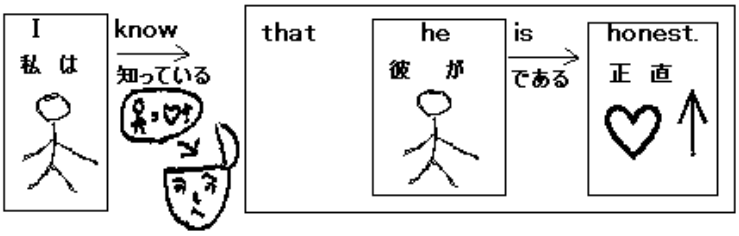
2 前置詞、接続詞は囲まない。



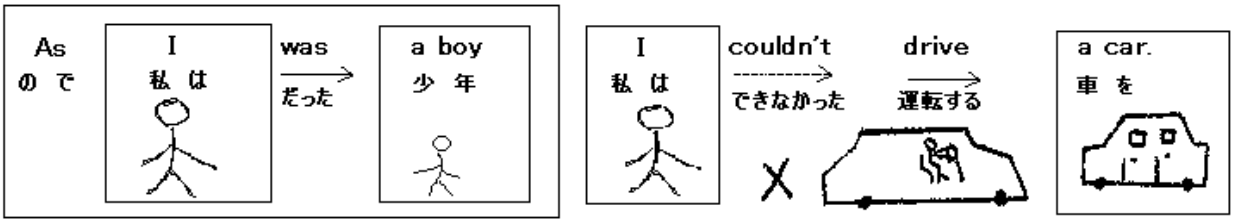
3 動詞や熟語は ⟶ で示す。



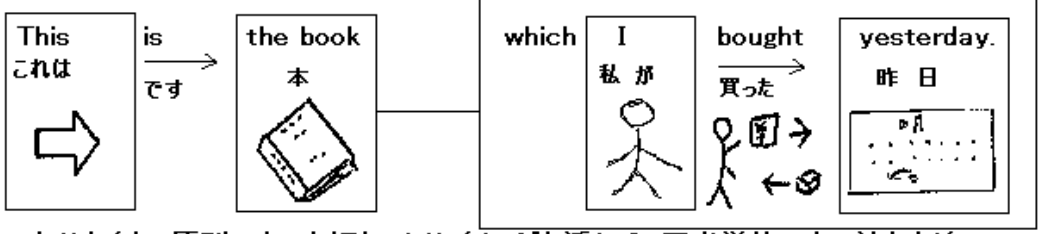
4 名詞節、名詞句は □ で囲む。



5 副詞節、副詞句は □ で囲む。



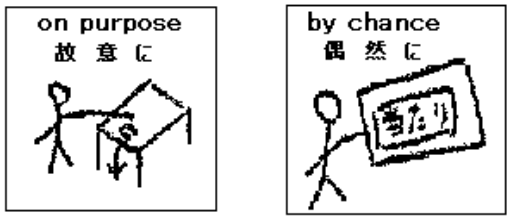
6 形容詞節、形容詞句は ― で囲む。



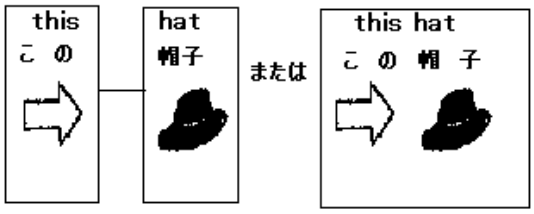
7 助動詞は ------> で示す。

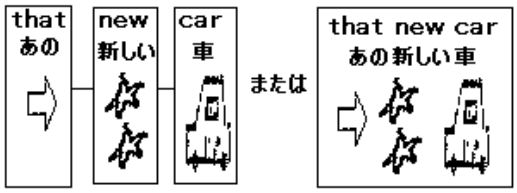
must ------> ねばならない　　may ------> かもしれない　　can ------> できる

8 慣用句は □ で囲む。



9 形容詞+名詞は □―□ または □ で示す。



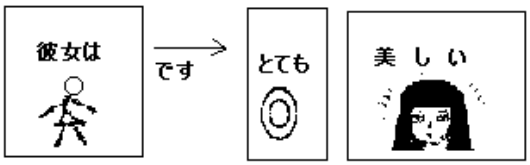


*これはあくまで原則です。大切なことはイメージを浮かべ、思考単位で文の流れを追い、
文全体のイメージを作ることです。

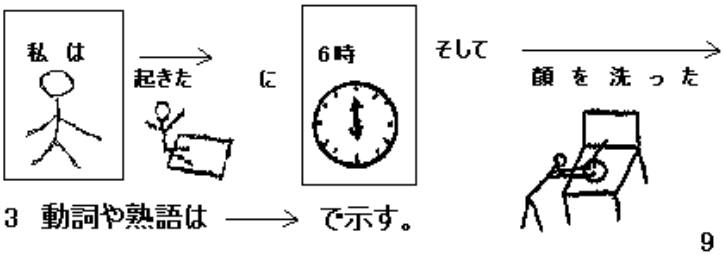
© Takami tadashi

次のセンテンス・フローから英文を作りましょう

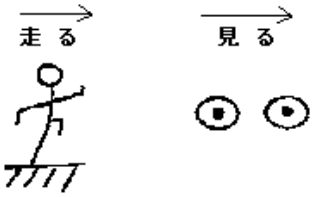
1 名詞、形容詞、副詞は □ で囲む。



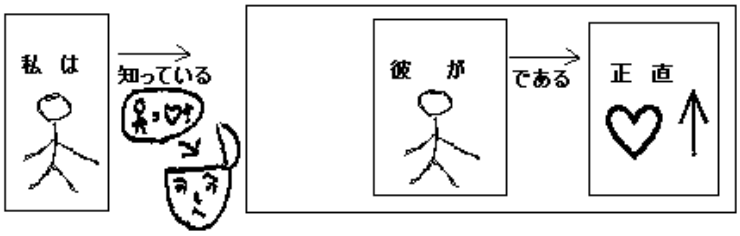
2 前置詞、接続詞は囲まない。



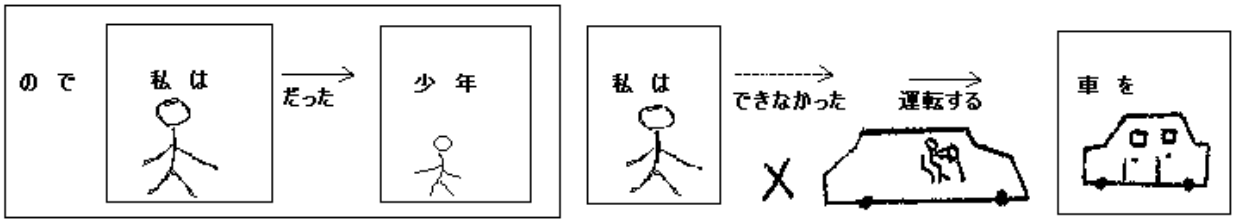
3 動詞や熟語は ⟶ で示す。



4 名詞節、名詞句は □ で囲む。

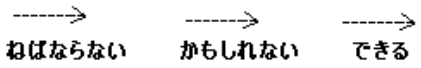


5 副詞節、副詞句は □ で囲む。

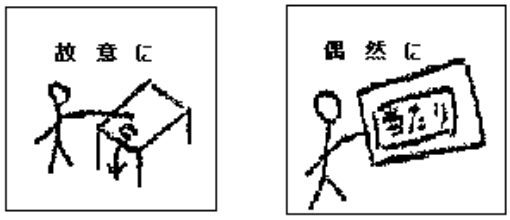


6 形容詞節、形容詞句は ― □ で囲む。

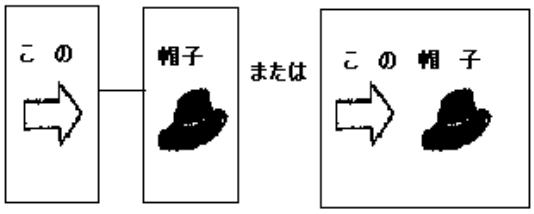
7 助動詞は ⇢ で示す。

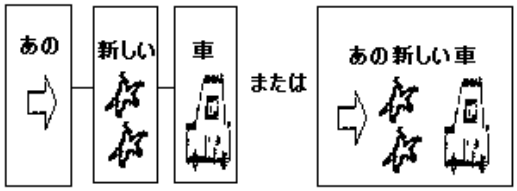


8 慣用句は □ で囲む。



9 形容詞+名詞は □―□ または □ で示す。





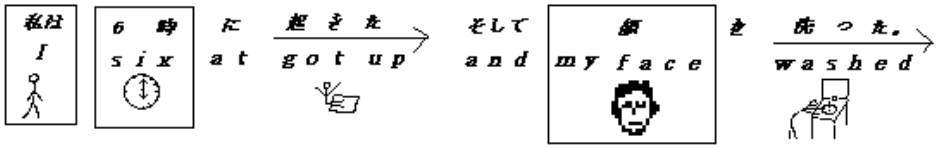
*これはあくまで原則です。大切なことはイメージを浮かべ、思考単位で文の流れを追い、
文全体のイメージを作ることです。

© Takami tadashi

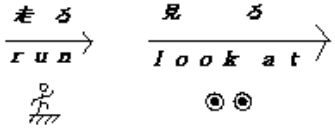
●日本語のセンテンス・フロー

1 名詞、形容詞、副詞は □ で囲む。

2 助詞、接続詞は囲まない。

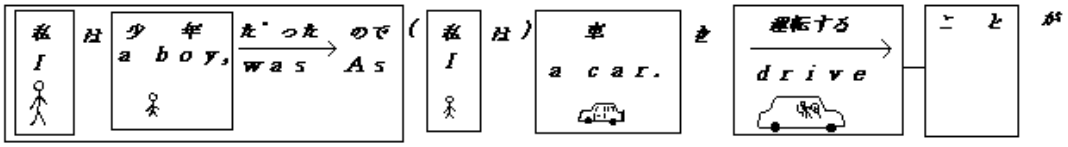


3 動詞や助動詞は ⟶ で示す。



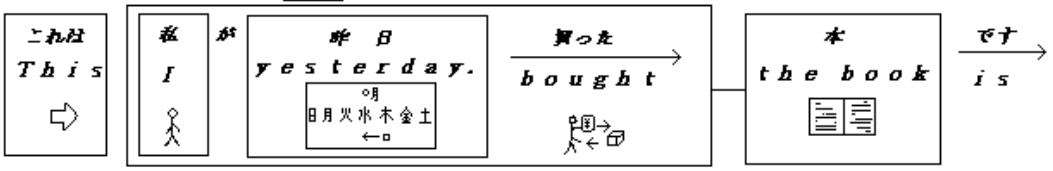
4 名詞節、名詞句は □ で囲む。

5 副詞節、副詞句は □ で示す。

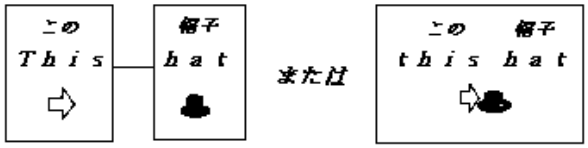


できなかった。
couldn't
×

6 形容詞節、形容詞句は —□ で囲む。



7 形容詞＋名詞は □—□ または □ で示す。

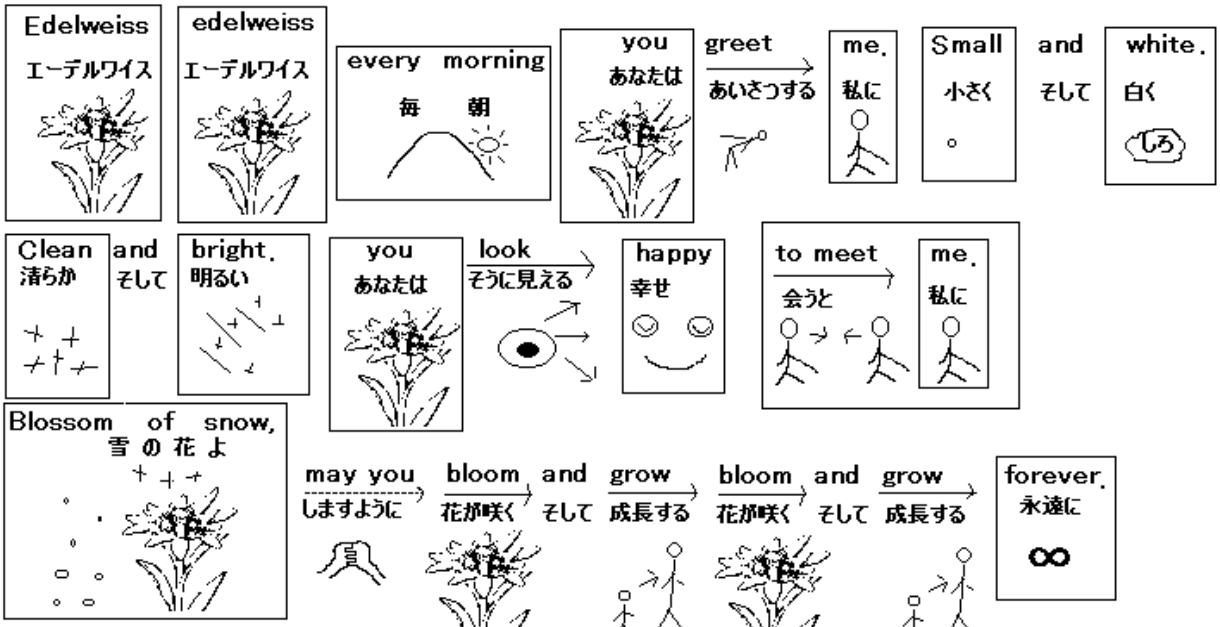


＊これはあくまで原則です。大切なことはイメージを浮かべ、思考単位で
文の流れを追い、文全体のイメージを作ることです。

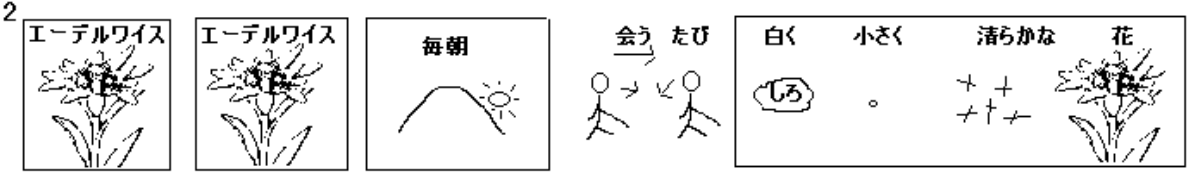
© Takami Tadashi

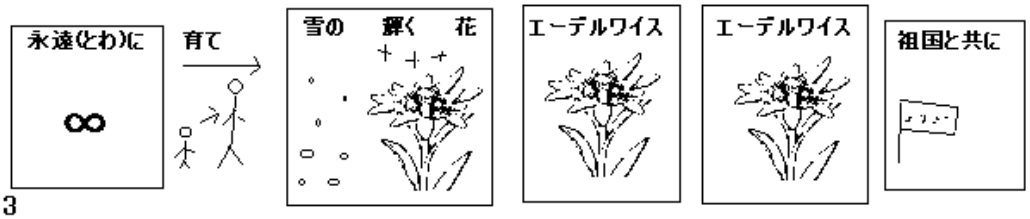
1

エーデルワイス　訳詩　高見　忠

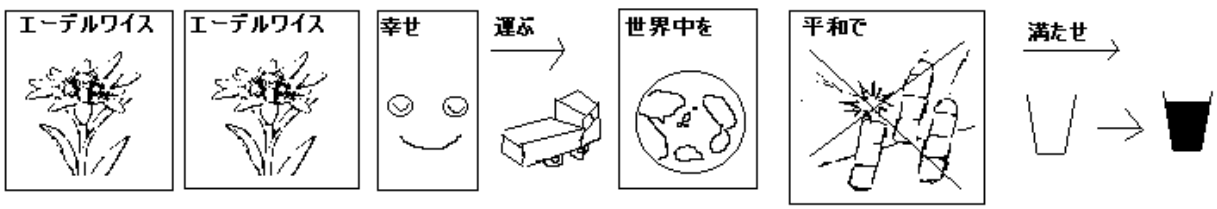


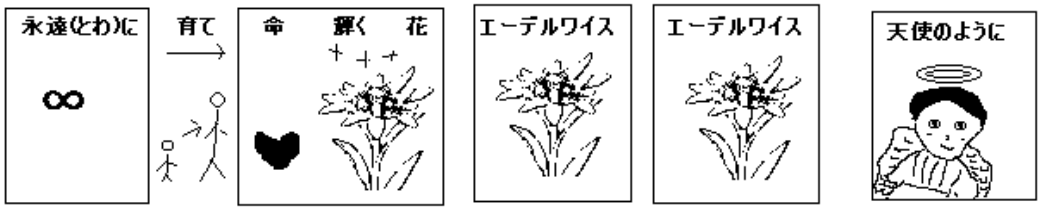
2





3

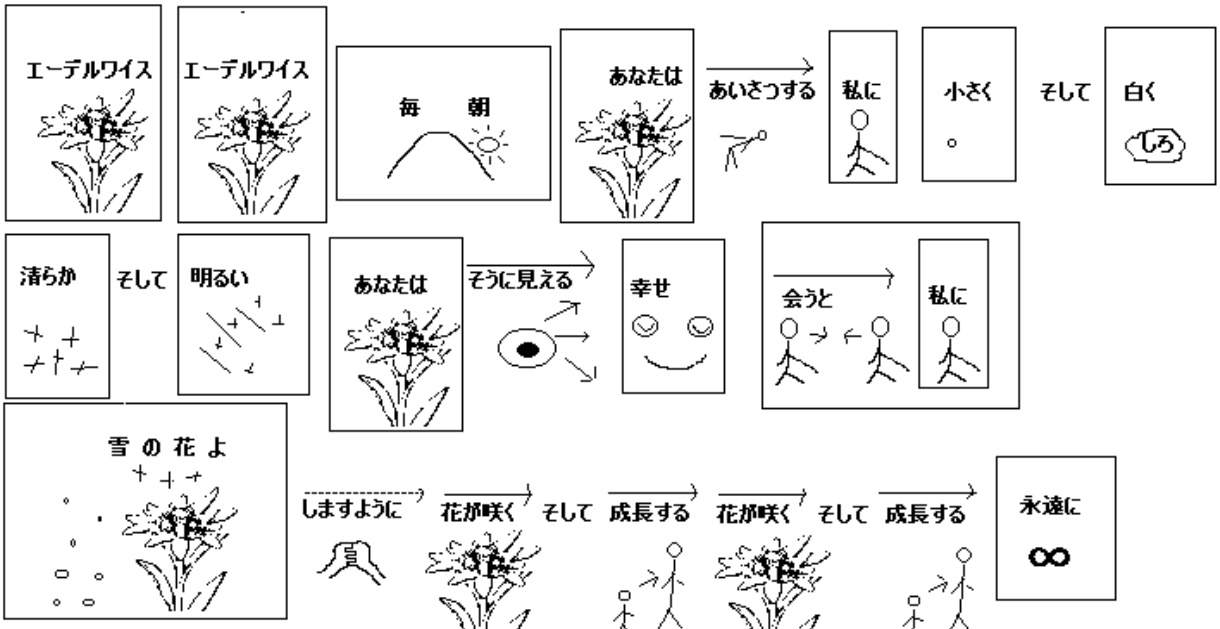




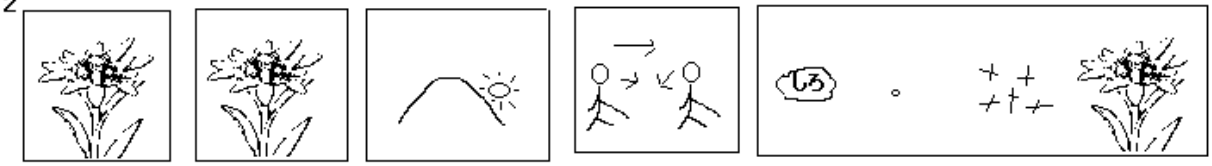
© TAKAMI Tadashi

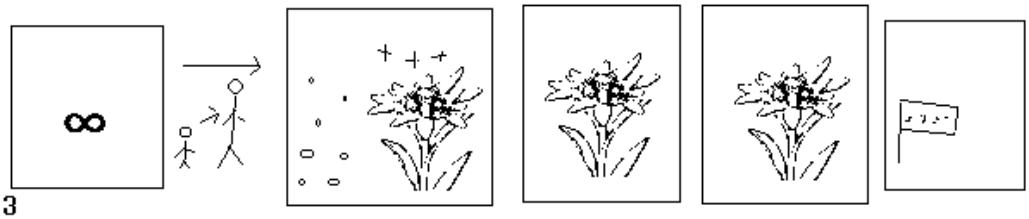
1

エーデルワイス　訳詩　高見　忠

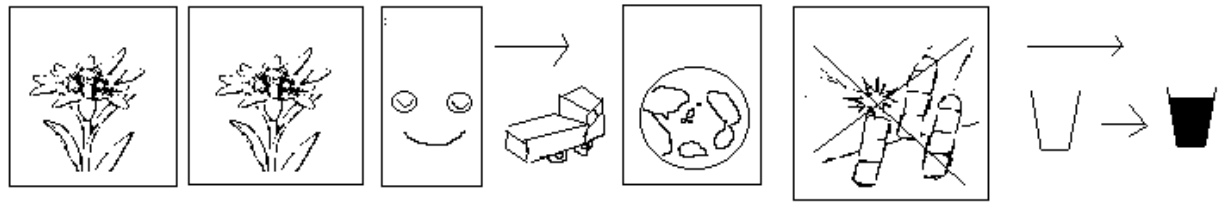


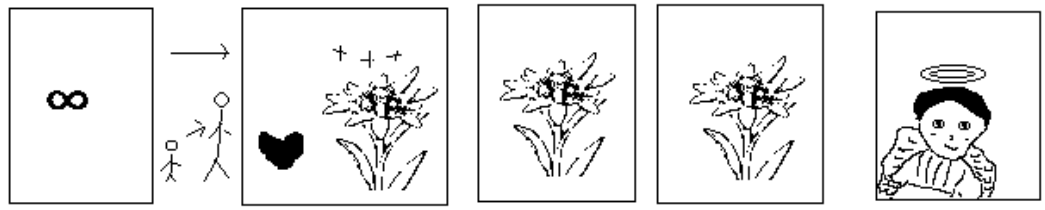
2





3

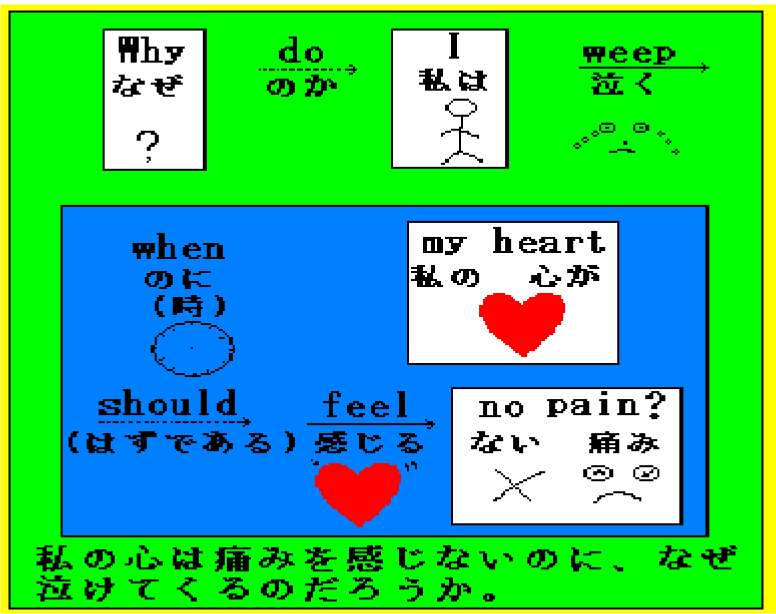




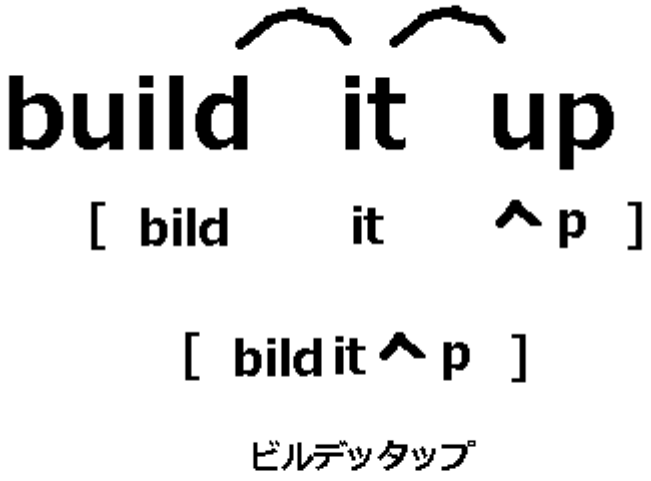
ⓒ　TAKAMI Tadashi

英語の歌でリスニングを鍛えよう

日本人がリスニングができない理由



作 高見 忠

リエゾンとリダクション

リエゾンはもともとフランス語ですが英語にもあります。リエゾンとは最初の単語の子音と次の単語の母音が結びつく現象のことです。例えば「This is a book.」で「this のs」と「is のi」が結びつき「sis」となり［ðis　iz］「ディスイズ」ではなく［ðisiz］「ディシズ」となります。「which I」では[witʃ ai]「ウイッチアイ」ではなく[witʃai]「ウィッチャイ」になります。リダクションとは単語から「h」などの音が落ち前の単語と結びつき発音されることです。例えばフセイン元大統領が捕まった時、当時のイラクの総督府の長官が「We got him.」と発言しました。この時[ui gat him]「ウイガットヒム」ではなく「him」の「h」を落とし[ui gatim]「ウィガッティム」と発音しました。ビートルズの曲「Hey Jude」で「to let her into your heart」を「her のh」を落とし、　「tu let hə」「トゥレトゥハ」ではなく　「tu let ə」「トゥレタ」と歌っています。また「good day」で[gud dei]「グッドゥデイ」ではなく[gudei]「グッデイ」、「sit down」で[sit daun]「シットゥダウン」ではなく　[sidaun]「シッダウン」などもリダクションです。